

研究開発型独立行政法人の整理合理化の動きについて

- 独立行政法人整理合理化計画について
(国立健康・栄養研究所、医薬基盤研究所)……………P 1

- 独立行政法人整理合理化計画について
(労働安全衛生総合研究所)……………P 2

独立行政法人整理合理化計画について(健栄研・基盤研関係)

国立健康・栄養研究所

<組織の見直し>

- 国民の健康の増進について、より多角的に研究を進める観点から医薬基盤研究所と統合

<その他(主なもの)>

- 大学、他府省等の調査研究と、重複・類似する研究の排除に努める。
- 内閣府の検討に合わせ、国民生活センターとの情報共有等、具体的な連携の在り方を検討し、平成19年度内に結論を得る。
- 外部の競争的資金の獲得等により、自己収入の一層の増加を図る。

医薬基盤研究所

<組織の見直し>

- 健康・栄養・食生活に関する研究との連携を図る観点から国立健康・栄養研究所と統合

<その他(主なもの)>

- 実用化研究支援事業については、欠損金を生じさせないように、事業手法の変更等について検討する。
- 多額の繰越欠損金を抱えている承継事業の速やかな整理に向け、出資者とも協議しつつ、必要に応じ、出資先の解散整理、特許権の売却等所要の措置を講ずる。
- 給与や経理業務など間接部門の民間委託について検討する。

労働安全衛生総合研究所

<組織の見直し>

- 労働安全衛生に係る研究業務等の一層の総合化を図る観点から
労働者健康福祉機構と統合

<その他>

- 他の研究機関において研究体制の整備や研究実績の集積がみられるものについて速やかに廃止する。
- 受託研究等による自己収入の充実を図る。
- 効率的な研究マネジメントを実施する。

独立行政法人労働者健康福祉機構は、労災疾病を対象とした予防から治療、リハビリテーション、職場復帰に至る一貫した高度・専門的医療の提供等や労災疾病に係る臨床研究及び産業保健関係者への研修、情報提供、相談、その他の援助等を行う法人